

平成22年度全国高等学校総合体育大会【美ら島沖縄総体2010】
 (第78回 日本高等学校選手権水泳競技大会)

水球競技速報用紙

平成22年8月18日(第2日)

会場: プール

ゲーム

9

帽子の色 白 埼玉栄高等学校 6	2回戦 <table border="0"> <tr><td>1</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>0</td><td>-</td><td>3</td></tr> <tr><td>2</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>1</td><td>-</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>EX.</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>-</td><td>0</td></tr> <tr><td>0</td><td>-</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>P.T.</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>-</td><td></td></tr> </table>	1	-	0	0	-	3	2	-	0	1	-	1		EX.		2	-	0	0	-	1		P.T.			-		青 帽子の色 佐賀県立佐賀東高等学校 5
1	-	0																											
0	-	3																											
2	-	0																											
1	-	1																											
	EX.																												
2	-	0																											
0	-	1																											
	P.T.																												
	-																												
天候: 晴れ		審判1: 榎橋 邦広 審判2: 榎本 隆																											

戦評

昨年の優勝チームであり今大会も優勝候補筆頭の埼玉栄は小学校から共に戦ってきた仲間達と大会2連覇を目指す。対する佐賀東は1回戦で強豪鳥羽との激戦を制し、勢いに乗ったまま昨年の覇者に挑む。両チームともレベルの高い体力と技術を有しており、白熱した試合が予想される。

1P 最初の攻撃は埼玉栄、佐賀東は昨日とは違いマンツーマンディフェンスでカウンターをねらう。対する埼玉栄は2番ポジションを下げ中を固め佐賀東を迎え撃つ。動いたのは5:50白 瀬織、左45°から鋭いカットインで相手のインサイドをつきペナルティを奪い落ち着いて決める。その後両チームともカウンターやカットインからの多彩な攻撃でシュートを狙うがこれを両GKが好セーブ。また、パワープレーも決めることができずこのピリオドは1-0で終了した。

2P 早い攻防の展開が繰り返されるなか、青 清水が相手のシュートミスからのカウンター、GKの手に当たったがゴールへと吸い込まれていって1-1の同点。互いにカウンターを出し合っているがなかなか得点に結びつかない状況が続いていた。すると、白 瀬織がまたしてもカットインから退水を誘発したがシュートまでいかずインターセプトされてしまう。ここで素早く反応した青 清水がカウンターからゴールを揺らし1-2の逆転ゴールを決めた。さらに1:18青 小松が2番ポジションから本人も驚きを隠せない見事なループシュートを放ちゴールのサイドネットに落ちた。このピリオド終わってみれば0-3と佐賀東のリードで終了し、トータル1-3で折り返した。

3P センターボールは佐賀東、これに対し埼玉栄は前半戦のディフェンスとは違いマンツーマンに切替えてきた。流れをつかみかけていた佐賀東だが埼玉栄のプレスディフェンスにリズムを崩され埼玉栄の反撃が始まった。4:45白 町田がカットインからのフローティングで見事にゴールを決めると、1:44白 瀬織が3:2のカウンターからワンタッチシュートを決め一気に3-3の同点に追いつく。佐賀東はカウンター、埼玉栄はカットインから多彩な動きでシュートを狙うが得点はできず3-3で最終ピリオドを迎える。

4P 一進一退の攻防が続く両チームに疲れが見え、パスミスやターンオーバーが目立つようになってきた。長いラリーに動きが出たのは残り2:30、白 瀬織が左サイドからインサイドを突くカットイン、しかしシュートまでいかず、逆に青 武市がカウンターからループシュートを放ち3-4とリードを奪った。しかし、昨年優勝の強豪埼玉栄は意地を見せ白 田嶋がトップ抜けから退水を誘発した。ここで埼玉栄がタイムアウト。残り1:23で1点負けている埼玉栄は絶対にはずせないプレッシャーがのし掛かる状況で白 瀬織が見事に同点ゴールを決めた。これで勢いづいた白 瀬織が残り20秒でカットインからペナルティを奪った。これで決まったかと思われたが、佐賀東のGKが会心のセーブを見せ延長戦へ突入した。

EX1 最終ピリオドで流れをつかんだ埼玉栄はさらに勢いが増し、白 町田がトップから左隅に突き刺さるバウンドシュートを決め、0:19には白 永井がカウンターでゴールを奪い一気に2点のリードを広げた。

EX2 2点のリードを返そうと佐賀東が果敢に攻め込むが、埼玉栄に落ち着きができてなかなかシュートまでつながらず、タイムアウトを取り青 竹下がシュートを放ったが得点できない。残り16秒に青 佐伯が5mシュートで1点返したが、ここでタイムアップ。

この白熱したゲームを陰で支えていたのは、肝心な時にゴールを死守した両チームのGKだったように思われる。佐賀東は負けはしたものの昨年王者の埼玉栄に大健闘した。埼玉栄にはこの勢いで福岡工業戦へとつなげて欲しい。

記録者

坂本 博文